

メッセージ：神様のゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）－
イエス様の死からの復活

OIC の皆様おはようございます。
イースターおめでとうございます。
また、ようこそ天の父なる神の家へ来られました。

私たちはまた、神様がその偉大な力を私たちの人生に用いてくださることを期待しなければなりません。神様がイエス様を死者の中からよみがえらせたとき、神様はこの偉大な力を示されました。神様はしばしば、超自然的なことと、その後に私たちが行うハードワークを組み合わせられます。ヨシュアはエジプトからエリコまでの旅で多くの神様の偉大な奇跡を見ました。これらの奇跡は、まだ見えないものに対するヨシュアの神様への信仰を強めました。ヨシュアは神様の約束された勝利を信じました。今日、キリストは墓からよみがえられたので、死そのものは私たちにとって脅威ではありません。神様の約束は、私たちも墓からよみがえるということです。神様は私たちの前に、私たちの不動の壁を崩すかもしれません。主は、私たちがそれを登り、転び、再び挑戦するよう強めてくださるかもしれません。しかし私たちは、神様が現れ、私たちの人生が豊かになるために約束された勝利を与えてくださることを信じることができます。＜ヨハネの福音書 10 章 9 節-11 節＞に神様の御子は約束されたとおりです。

＜ヨハネの福音書 10 章 9 節-11 節＞

9 わたしは門なのです。この門から入る者は救われます。また、安心して出入りができ、緑の牧草を見つけるのです。

10 強盗は、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするために来ます。しかしわたしが来たのは、いのちをあふれるほど豊かに与えるためです。

11 “わたしはまた、良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のためにはいのちも捨てます。

今日、私のメッセージは、羊のために良い羊飼いが命を犠牲にした最初の目に見える結果を強調し焦点を当てます。…… イエス様の墓からの栄光の復活！それはクリスチャンにとってすべてのことを意味します。天地創造以来のクライマックスを迎えるまで全ての歴史の多くの出来事が含まれています。Weblio 辞書ではゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）を【一瞬にして試合の流れをプレーで変える選手；大きな影響力を持つ革新的な製品】のように定義しています。キリストの復活は、まさに神様の「ゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）」です。

＜ルカの福音書 24 章 1 節＞を読みます。

日曜日の明け方早く、待ちかねた女たちは香油を持って墓に急ぎました。

「しかし」というシンプルな言葉は、最近の出来事の変化や逆転を強調し示しています。イースターの日曜日の前、最近の出来事はイエス様の十字架上の死でした。その前の金曜日のみ、＜ルカの福音書 23 章 44 節-46 節＞で読みます。

<ルカの福音書 23 章 44 節-46 節>

44 その時です。正午だというのに、突然、あたりが暗くなり、午後三時までそんな状態が続きました。

45 太陽は光を失い、神殿の幕が、なんと真っ二つに裂けたのです。

46 その時イエスは、大声で、「父よ。わたしの霊を御手におゆだねします！」と叫んで、息を引き取られました。

しかし神様はゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）

新約聖書の他の箇所には、神様による即座の、あるいは強力なゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）を強調する「しかし」という言葉の用法がいくつかあります。

<エペソ人への手紙 2 章 12 節-13 節>

12 そのころのあなたがたは、キリストとは全くの無縁で、神の民に敵対し、神から何の助けも約束されていませんでした。神もなく、望みもない、滅びる以外にない存在でした。

13 しかし、以前は神から遠く離れていたあなたがたも、キリスト・イエスがその血をもつてなしてくださったことによって、今では、神のそば近くにいるのです。

個人的には、<J. B. Phillips の言い換えエペソ人への手紙 2 章 13 節>がとても好きです。「しかし今、かつて枠外にいたあなたがたは、キリストの血潮によって、神様の愛と目的の輪の内側に私たちとともにいます。」

Phillips はイギリス人なので、ほとんどの翻訳にはない「pale（範囲、境界）」という言葉を使いました。The Merriam-Webster 辞書は「pale」を次のように定義しています。1) （非難から）特権を与えられたり保護されたりする領域や限界、または 2) 囲い地
こうして、イエス様が十字架上で息を引き取られたとき、神殿の幕は二つに引き裂かれました。<ルカの福音書 23 章 44 節-46 節>で書かれています。

<ルカの福音書 23 章 44 節-46 節>

44 その時です。正午だというのに、突然、あたりが暗くなり、午後三時までそんな状態が続きました。

45 太陽は光を失い、神殿の幕が、なんと真っ二つに裂けたのです。

46 その時イエスは、大声で、「父よ。わたしの霊を御手におゆだねします！」と叫んで、息を引き取られました。

<エペソ人への手紙 2 章 13 節>の言葉と、「pale（範囲、境界）」という言葉の意味が明らかに結びついています。

<エペソ人への手紙 2 章 13 節>

13 しかし、以前は神から遠く離れていたあなたがたも、キリスト・イエスがその血をもつてなしてくださったことによって、今では、神のそば近くにいるのです。

<J. B. Phillips の言い換えエペソ人への手紙 2 章 13 節>

かつて枠外にいたあなたがた

この pale（範囲、境界）は、ユダヤ神殿内の幕屋で囲まれた領域、すなわち「至聖所」です。イエス様の死は、イエス様を信じる者すべてに「至聖所」への道を開きました！

<エペソ人への手紙 3 章 5 節>

以前、神はこの計画をご自分の民に隠しておられました。しかし今は、聖霊を通して、使徒や預言者たちにはっきりと示しておられます。

「しかし」という言葉は、特にイエス様の復活を指しています。

<エペソ人への手紙 2. 章 3 節-5 節>

3 私たちもみな、以前はほかの人たちと同じで、その生活は、心にある悪を反映したものでした。欲望や心のおもむくままに生き、行動していたのです。私たちは、生まれながらに神の怒りを受けて当然の者でした。

4 しかし神は、なんとあわれみに満ちたお方でしょう。こんな私たちを深く愛してくださって、

5 罪のために霊的に死に果て、滅びる定めにあった私たちを、キリストの復活と共に生かしてくださいました。救われる価値などない私たちに、ただ一方的な恵みが注がれたのです。

聖霊なる神様は新約聖書を書かれ、「しかし」という小さな言葉に大きな力と重要性を込められました。神様は「しかし」という言葉を用いて、歴史における神様の「ゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）」を定義されたことがわかります。教会への神様からの信仰と恩寵を目的とした書簡であるエペソ人への手紙は、2. 章 3 節-5 節の節でも神様の「ゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）」を示しています。各節は、人間の無力な立場を、「BUT GOD（しかし神様は）」という表現によって逆転させて示しています。

人類に希望がないことが希望に変わる - <エペソ人への手紙 2. 章 12 節-13 節>

12 そのころのあなたがたは、キリストとは全くの無縁で、神の民に敵対し、神から何の助けも約束されていませんでした。神もなく、望みもない、滅びる以外にない存在でした。

13 しかし、以前は神から遠く離れていたあなたがたも、キリスト・イエスがその血をもってなしてくださったことによって、今では、神のそば近くにいるのです。

人類の救いは隠された奥義 - <エペソ人への手紙 3 章 5 節>

以前、神はこの計画をご自分の民に隠しておられました。しかし今は、聖霊を通して、使徒や預言者たちにはっきりと示しておられます。

人類は神様の怒りを受けていたが許される-<エペソ人への手紙 2. 章 3 節-5 節>

3 私たちもみな、以前はほかの人たちと同じで、その生活は、心にある悪を反映したものでした。欲望や心のおもむくままに生き、行動していたのです。私たちは、生まれながらに神の怒りを受けて当然の者でした。

4 しかし神は、なんとあわれみに満ちたお方でしょう。こんな私たちを深く愛してくださって、

5 罪のために霊的に死に果て、滅びる定めにあった私たちを、キリストの復活と共に生かしてくださいました。救われる価値などない私たちに、ただ一方的な恵みが注がれたのです。

この「BUT GOD（しかし神様）」が＜ルカの福音書 24 章 1 節＞に直接指し示しています。

＜ルカの福音書 24 章 1 節＞

日曜日の明け方早く、待ちかねた女たちは香油を持って墓に急ぎました。

次に＜ルカの福音書 24 章 2 節-3 節＞を読みます。

＜ルカの福音書 24 章 2 節-3 節＞

2 着いてみると、どうしたことでしょう。墓の入口をふさいであった大きな石が、わきへ転がしてありました。

3 中へ入って見ると、主イエスの体は影も形もありません。

墓に向かった親愛なる女性たちは、絶望と挫折を感じたに違いありません。墓に向かった親愛なる女性たちは人生を救い主に献げていました。天と地の創造主であるイエス様のために、食べ物を買うために懸命に働いた親愛なる女性たちもいました！すごいことです。！ さて、墓に向かった親愛なる女性たちの最後の愛の行為はイエス様の遺体に香料と香油を注ぐことでしたが、今や挫折してしまいました。今、墓に向かった親愛なる女性たちは見えています……イエス様はもう去ってしまっていないのです！

キリストにあつての天使たち、ゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）

4 月 13 日の私のメッセージ『無敵の壁に立ち向かう』の参照に戻らせてください：紀元前 1406 年、ヨシュアは天使と対決しました。

＜ヨシュア記 5 章 13 節＞

さて、ヨシュアがエリコの町を見上げていた時、一人の人が目の前に現れました。その人は抜き身の剣を手にしていました。ヨシュアは歩み寄り、「味方か、それとも敵か」と問いました。

一人の人{天使}が ＜ヨシュア記 5 章 13 節＞で言いました。

＜ヨシュア記 5 章 14 節＞

14 すると、「わたしは主の軍の将である」という答えが返ってきました。その声を聞くと、ヨシュアは地にひれ伏して彼を拝み、「どうぞご命令を」と言いました。

さて、西暦 30 年ごろのイースターの日曜日に、愛するイエス様の遺体に油を注ぎに来た女性たちが、二人の天使を見たと言いました。

愛するイエス様の遺体に油を注ぎに来た女性たちは天使たちに対して、ヨシュアが剣を手にした天使にしたのと同じような反応を示しました。

＜ルカの福音書 24 章 4 節-5 節＞で

4 「いったい、どうなってるのかしら。」女たちは途方にくれました。すると突然、まばゆいばかりに輝く衣をまとった人が二人、目の前に現れました。

5 女たちはもう恐ろしくて、地に伏したまま顔も上げられず、わなわな震えていました。その人たちは言いました。「なぜ生きておられる方を、墓の中で捜しているのです。

イエス様の復活後、神様の使者であり、神様の力の道具である神様の天使たちが、イエス様の数人の使徒たちに現れました。ただ、私が言いたいことを伝えるために、いくつかの節を引用します：

＜使徒の働き 5 章 18 節-20 節＞

18 うむを言わず使徒たちを逮捕し、留置場に放り込みました。

19 しかし、夜、主の使いが来て、留置場の戸を開け、使徒たちを外に連れ出して言いました。

20 「さあ宮へ行き、このいのちの教えを大胆に語りなさい。」

そして

＜使徒の働き 12 章 7 節-8 節＞

7 そのとき突然、牢獄の中がぱっと光り輝き、主の使いが現れました。天使はペテロのわき腹をつついて起こし、「さあ立って、急ぎなさい」と言いました。そのとたん、鎖が手首からはずれました。

8 「身じたくを整えて、くつをはきなさい。」ペテロがそのとおりにすると、今度は、「さあ上着を着て、ついて来なさい」と命じます。

そして

＜使徒の働き 27 章 22 節-24 節＞

22 でも、元気を出しなさい。船は沈みますが、だれも死にはしません。

23 ゆうべ、天使がそばに立ち、こう知らせてくれたのです。

24 『恐れることはない。パウロ。あなたはまちがいなく、カイザルの前で裁判を受けるのです。そればかりか、神はあなたの願いを聞き届け、同船の人たち全員のいのちも救ってくださいます。』

イエス様の使徒たちは、誰一人として天使たちの前で地面に倒れなかったことに注目してください！ イエス様の使徒たちの中にいる聖霊なる神様は、天使たちの前で地面に倒れることを決して許されないでしょう！すべてのクリスチャンはキリストの中にいるからです。

使徒パウロはクリスチャンに、エペソ人への手紙の第 1 章だけで、「キリストのうちに」、「イエス様のうちに」あるいは「最愛の人のうちに」とこれらの言葉を 9 回も繰り返しています。 私たちがキリストのうちにいるので、神様は私たちがキリストのうちにいることを選ばれます。 それゆえ、私たちを見つめ、私たちに会う御使いたちは（私たちが御使いたちを見ようと見まいと）、私たちクリスチャンを見て、キリストを見ているのです。 私たちが天使たちを拝むよりも、天使たちが私たちを崇拝する可能性の方がもっと高いかもしれません。しかし天使たちが私たちを崇拝することはありません。しかし、今では神様の天使たちは超自然的なパワーと神様からのメッセージの源となっています。神様の天使たちは天から遣わされた私たちの友人であり、助け手なのです。

あなたはこう尋ねるかもしれません：「Bruce 牧師、なぜ天使について多くの時間を費やしたのですか？」パウロが「キリストのうちに」という言葉を繰り返したのと同じ理由からです。私は、クリスチャンはもはや天使の前でひれ伏すことはない聖書が告げていることを示しました。天使たちはクリスチャンの中にキリストを見ます！

このメッセージの中で、私は2つのゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）の言葉について述べました。

①「しかし」という言葉

御子を死からよみがえらせるという神様の人生を変える出来事を紹介すること

②「キリストのうちに」という言葉

クリスチャンへの神様の力がいかに偉大であることを表現すること

使徒パウロが＜エペソ人への手紙1章19節-20節＞で「キリストにある」という言葉を繰り返した理由を書いたように、私はここで神様の天使たちについて繰り返し語りました。

＜エペソ人への手紙1章19節-20節＞

19 また、信じる者を助ける神の力が、どれほど偉大であるかを知ることができますように。

20・21 この同じ偉大な力が、キリストを死者の中から復活させ、ほかのどんな王、支配者、権力者、指導者よりもはるかに高い、天の神の右の座につかせたのです。このキリストの栄誉は、この世だけでなく、次に来る世でも、他のすべてにはるかにまさって輝かしいものです。

イエス様を信じる親愛なる OIC の皆さん、神様はあなたがあなたの人生においてイエス様の力強い力を信じ、理解することを望んでおられます。イエス様の力強い力は、イースターの日曜日に神様がイエス様を死者の中からよみがえらせたときに示したのと同じ力です！神様はイエス様の復活を告げ知らせるために天使を使われました。神様は力強い方法で私たちを助けてくださいます。神様は私たちに御霊なる聖霊なる神様を与えてくださり、私たちの必要を満たし、キリストにおける私たちの高い召命を知るのを助けるために、いつも目に見えるわけではありませんが、天使たちをしばしば遣わしてくださいます。

天使たちのメッセージ

今、天使たちは、世界をひっくり返す神様からのメッセージを持ってきています。

＜ルカの福音書24章5節-7節＞を読みます。

5 女たちはもう恐ろしくて、地に伏したまま顔も上げられず、わなわな震えていました。その人たちは言いました。「なぜ生きておられる方を、墓の中で捜しているのです。」

6・7 あの方はここにはおられません。復活なさったのです。まだガリラヤにおられたころ、何と言われましたか。メシヤは悪者たちの手に売り渡され、十字架につけられ、それから三日目に復活する、と言われたではありませんか。」

＜マタイの福音書17章22節-23節＞でイエス様は弟子たちにはっきりとこう言われました。

＜マタイの福音書17章22節-23節＞

まだガリラヤにいたある日のこと、イエスはこんなことをお話しになりました。「わたしは裏切られ、人々の手に引き渡され、殺されますが、三日目には必ず復活します。」これを聞いて、弟子たちの心は悲しみと恐れとで、いっぱいになりました。

マタイによるイエス様の福音書のこれらの箇所について、少し書いてきましょう。私たちイエス様の弟子たちは、否定的な「悪い知らせ」だけを覚えていて、神様のメッセージの最後にある「良い約束」を忘れてしまうことがいかに多いことでしょうか。弟子たちはイエス様が殺されたことは覚えていましたが、三日目に死者の中からイエス様がよみがえられることはすぐに忘れてしまっていました。弟子たちと同じように、私たちもまた、御言葉の再読と再聴が必要なのです。聖霊なる神様がささやかれます。そして天使たちは、神様が私たちに覚えていてほしいと望んでいることを思い出すように思いをもたらしませう。これらの弟子たちは、私たちと同じように、苦難や喪失感で落ち込んでいました。これらの弟子たちは弟子たちの主であられ、救い主であられるイエス様が十字架にかかれたのを見たばかりです。私たちもまた、喪失感や苦難、悲しみの時に、神様の素晴らしい約束を思い出すのは難しいです。私たちの中には、心が「憂鬱の谷」に落ち込むと、「山の頂上」や「霊的な良い思い出」を思い出すことができない人がいるように思えます。

しかし、この輝かしいイースターの日曜日、天使たちは、死んだものや嫌な思い出の中に神様の素晴らしい約束を探さないように、と大胆に宣言しています。天使たちは、死んだものや嫌な思い出の中に神様の素晴らしい約束を探す代わりに、生きておられる-復活された-救い主を仰ぎ見よ！と宣言しています。

イースターの朝の明るい日の出のように、ついに次のことが起こります。私たちは<ルカの福音書 24 章 8 節>を読みます。

<ルカの福音書 24 章 8 節>

88 そう言われて女たちは、はっと思いあたりました。

9 そして、すぐさまエルサレムに取って返し、十一人の弟子やほかの人たちに一部始終を話しました。

10 そのとき墓へ行った女たちは、マグダラのマリヤとヨハンナ、ヤコブの母マリヤ、そのほか数人でした。

愛するイエス様の遺体に油を注ぎに墓まで来た女性たちは今、生きておられる主イエス様との再会を信じています。また、マグダラのマリアが一人でいたとき、園で実際にイエス様を見たことも私たちは知っています。

神様は、信仰を奪うような超自然的なことを指揮したり、指示したりしようとはされませんでした。そうです。神様の全てを治める力は、私たちが望むものが見えないときに、神様の言葉への信仰は続くことを強調しました。神様は天使の軍団を遣わして 11 人の使徒たちに語らせたものではありません。そうです。イエス様ご自身が後に使徒たちに現れるのです。使徒パウロが約 25 年後に記した時には、再び 12 使徒がいたことに注目してください。Matthias は裏切り者のユダの代わりに使徒として選ばれました。

<コリント人人への手紙 I 15 章 3 節-8 節>を読みます。

<コリント人人への手紙 I 15 章 3 節-8 節>

3 まず私は最も大切なこととして、かつて自分も知らされた、次のことを伝えました。すなわち、キリストは、聖書に記されているとおりに、私たちの罪のために死なれ、

4 葬られたこと、そして預言者たちの語ったとおりに、三日目に復活されたことです。

5 また、キリストはペテロに姿を現し、そのあと十二弟子の残りの者にも現れました。

6 さらには、五百人以上のクリスチャンにも姿をお見せになったのです。その中の何人かはもう死にましたが、大部分は今も健在です。

7 それから、キリストはヤコブ（主イエスの兄弟）に、そして使徒たち全員に現れました。

8 そして最後に、信仰の未熟児のような私の前にも現れてくださったのです。

しかし、マグダラのマリアには他にはない名誉がありました。マグダラのマリアは、イエス様が彼女から7つの悪霊を追い出されたとき、自由にされてイエス様を信じた者です。もし可能であるなら、マグダラのマリアは主イエス様の代わりに十字架につけられてもかまわないほど主イエス様を慕っていました。イエス様はこのマグダラのマリアの心を知っておられ、他の弟子たちにご自身の姿を現す前に、墓場でマグダラのマリアに「個人的に出現」されました。＜ヨハネの福音書 20 章 11 節-16 節＞にこの出来事を読みます。

＜ヨハネの福音書 20 章 11 節-16 節＞

11 けれども、マリヤは墓に戻り、外に立って泣いていました。泣きながら身をかがめて墓の中をのぞき込むと、

12 イエスのお体があった場所の、頭と足にあたる所に、白い衣を着た天使が二人、座っているではありませんか。

13 「なぜ泣いているのですか。」天使たちがマリヤに尋ねました。「だれかが私の主を取って行ったのです。どこに持って行ったのか、わからないのです。」

14 こう答えてふり向くと、だれかが立っています。なんとイエスでした。しかし、マリヤはまだ気がつかないようです。

15 イエスはマリヤにお尋ねになりました。「どうかしましたか。泣いたりして……。だれを捜しているのですか。」マリヤは、イエスを園の管理人と勘違いしていたので、「あの方を運んだのはあなた？ もしそうだったら、どこに置いたのか教えてください。私が引き取ります」と言いました。

16 「マリヤ。」イエスが呼びかけられました。その声にマリヤは、イエスのほうを向いて叫びました。「先生！」

悲しみは栄光へ変えられる

マグダラのマリアの悲しみは、言葉にできない喜びに変わり、栄光に満ち溢れました。他の女性たちも同様に悲しみは、言葉にできない喜びに変わり、栄光に満ち溢れました。＜ルカの福音書 24 章 9 節＞には、良い知らせへの彼女たちの反応が記されています。

＜ルカの福音書 24 章 9 節＞

9 そして、すぐさまエルサレムに取って返し、十一人の弟子やほかの人たちに一部始終を話しました。

イエス様が死からよみがえられたという生きた信仰ほど、真の伝道活動の原動力となるものはありません。イエス様は死からよみがえられました！生きている信仰を持つイエス様を信じる者は、自分たちの周りで世界が滅びていくのをただ黙って何もせずに見ていることはありません。生きている信仰を持つイエス様を信じる者は慌てて「みんなに イエス様を」伝えようとします。生きている信仰を持つイエス様を信じる者の道が塞がれたとき、天の愛の炎は彼らの魂の中でより強く燃え上がります。誰も、何も、生きている信仰を持つイエス様を信じる者が素晴らしい福音を分かち合うことを止めることはできません。神様の犠牲を払われた子羊御子イエス様は、今や復活した救い主です。

次に＜ルカの福音書 24 章 11 節-12 節＞

11 ところが、男たちには、この話がまるで物語のようで、とても現実のこととは思えません。だれも、まともに信じようとしませんでした。

12 しかしペテロは、それでも一応は確認しなければと墓へ行き、身をかがめて中をのぞき込みました。すると、どうでしょう。亜麻布のほかに何も見あたりません。それで、この出来事に驚いて家に戻りました。

ああ、憐れなペテロ……。使徒の中で一番落ち込んでいました。ペテロが主イエス様のために行った最後の奉仕は、主イエス様を三度否定することでした。しかし...絶望はしばしば緊急性に拍車をかけます。そこでペテロは飛び起き、墓まで走って見に行きました。ペテロは墓の中を見るのを恐れていました！しかし、墓の中を見ない方がもっと怖いので、ペテロは墓の中を覗きました。ペテロは身をかがめて中を覗き込むと、空のリネンの包みが見えました。そして、何が起こったのか不思議に思いながら、ペテロは家に戻りました。さて、聖書はヨハネとペテロが空の墓を覗き込んだことについて、興味深い真実を明らかにしています。並行して、使徒ヨハネが＜ヨハネの福音書 20 章 3 節-10 節＞に書いています。

＜ヨハネの福音書 20 章 3 節-10 節＞

3・4 私たちはそれを確かめようと、二人して墓に急ぎました。私はペテロより足が速かったので、先に着きました。

5 すぐさま身をかがめてのぞき込むと、亜麻布が見えます。しかし中には入りませんでした。

6 続いてシモン・ペテロが駆けつけ、ためらわず中に入りました。彼もやはり亜麻布と、

7 そこからやや離れた所に、イエスの頭に巻かれていた布が、そのままの形で置いてあるのを見ました。

8 私もあとから入り、この有様を見て、イエスが復活なさったことを信じました。

9 この時まで、イエスは必ず復活すると書いてある聖書のことばを、私たちはまだ理解していなかったのです。

10 二人は家に帰りました。

ヨハネがペテロより速く走れたという事実は興味深い詳細な事です。しかし、大胆なペテロはヨハネより先に墓を覗きました。ペテロは恐怖と希望が入り混じった絶望を感じていました！ペテロとヨハネ 2 人とも同じものを見ていました。

＜ヨハネの福音書 20 章 7 節-8 節＞

7 そこからやや離れた所に、イエスの頭に巻かれていた布が、そのままの形で置いてあるのを見ました。

8 私もあとから入り、この有様を見て、イエスが復活なさったことを信じました。

「ブルース牧師、なぜヨハネはイエス様の復活を信じたのに、ペテロは信じなかったのですか？」とあなたは尋ねるかもしれません。私は理由は 2 つあったと思っています。その理由の 1 つ目は非常に落ち込んでいるペテロは「頭が霧がかかったようにぼやっとしている状態」になっていたのではないかと思います。これはコロナになった方が多く経験されていることに似ています。その理由の 2 つ目は、ペテロはより冷静で実際に起こったことから結論を考えるタイプで、子供のころのヘブライ学校を思い出していたのではないかと思います。ヘブライ人の男子は皆、食前よりも食後で違うナプキンのたたみ方をす

ると教わっていました。イエス様の顔の覆いは、食事の後のようにたたまれていたに違いありません。主人が食事が終わってダイニングルームを出たことを示すように。イエス様は復活したに違いない、ヨハネはそう思い、信じました。

主はよみがえられた... 私たちは信じるから喜べる

<詩編 72 篇 18 節-19 節>

18 イスラエルの神に栄光がありますように。 この方こそすばらしいことをしてくださるのです。

19 栄光に輝くこの方の御名を、 永遠にほめたたえなさい。 主の栄光が全世界を照らしますように。 アーメン。アーメン。

<エペソ人への手紙 1 章 3 節-6 節>を読んで、私たちは、イエス様を信じる者がキリストの中にいることとそして天使たちが私たちを見ると、キリストを見ることを思い出します。

3 主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、天上のあらゆる祝福をもって、私たちを祝福してくださいました。それは、私たちがキリストのものとなっているからです。

4 神はこの世界をお造りになる前から、私たちを、ご自分のものとして選んでくださいました。そして、神は私たちを、ご自分の目から見て、何一つ欠点のない、きよい者にしようとお定めになりました。

5 神の御心は、イエス・キリストを遣わし、その死によって、私たちを神の家族の一員として迎えることでした。

6 神こそ、いっさいの賞賛を受けるべきお方です。神は、驚くばかりの恵みと愛とを豊かに注いでくださいました。それは、私たちが、神の最愛のひとり子につながる者となったからです。

イエス様を死からよみがえらせたとき、神様はその力を示されました。しかし、神様はしばしば、超自然的なことと、その後の私たちの努力とを結びつけてくださいます。紀元前 1406 年のヨシュアのように。ヨシュアはエジプトからエリコまでの旅で多くの奇跡を見ました。これらの奇跡は、まだ見えないものに対するヨシュアの信仰を強めました。それから 3431 年後の今日、私たちイエス様信じる者は、イエス様が死からよみがえられたと信じています。私たちは、天国への人生の旅路の歩みにおいて、神様に約束された勝利を信賴することができます。今日、キリストは墓からよみがえられたので、死そのものは私たちにとって何の脅威でもありません。すべての歴史の中で、天の父なる神様が御子イエス様を死者の中からよみがえらせたことほど超自然的なことはありません。これは、神様が十字架上でイエス様が流された血潮の犠牲を完璧で完全なものとして受け入れられたことを全世界に示したのでした。この身代わり、つまりイエス様が私たちの身代わりとなって神様の裁きと罰を受けられたことで、私たちの罪の代価はすべて支払われました。私たちは、復活した救い主イエス様が、私たちが決して支払うことのできない負債を取り除いてくださったことを喜びます。私たちが受けるべき罰をイエス様は受けてくださいました。

この後私たちにとって大きな仕事

復活の主イエス様を信じているから私たちは喜ぶと同時に、また私たちは聖霊なる神様によってイエス様の命令に従う力を与えられています。これには、他のクリスチャンや、私たちの助けを必要とする罪人を愛することも含まれます。彼らを助けることは、イエス様の復活の奇跡の後の私たちの大きな仕事の一部です。それは、私たちが人生を歩む中で、主のための弟子を作るためです。

神様のゲームチェンジャー（物事の状況や流れを一変させること）である見直すべきポイントは：

1. 「But God」 . しかし神様は.....
2. 「in Christ」 キリストにあって
3. 「The work of angels」 神様に仕える天使たちの働き
4. 「God's miracles help us to get to work」 神様の奇跡は、私たちが神様の仕事に取り掛かるのを助けてくださる

喜び、信仰を献げる仕事に取りかかりましょう

クリスチャンが信仰を献げれば献げるほど、神様からの聖霊なる神様によって信仰を献げ続けることで神様はもっと受けられます。イエス様は天に帰られる前に、神様の軍隊の神様の兵士たちを働かせるために時間を無駄にされませんでした。彼らは主イエス様の復活を喜んでいました。イエス様は彼らを人々の魂のために働くように導かれました。＜マルコの福音書 16 章 14 節＞を読みます。

＜マルコの福音書 16 章 14 節＞

その後、十一人の弟子たちが食事をしているところにイエスが現れ、彼らの不信仰をとがめられました。「どうして、わたしが復活したと言う者たちの証言を信じなかったのですか。」

ユダヤ文化圏における女性の地位の低さが、女性たちのメッセージを信じなかった一因でありましょう。これらの女性たちは2人の天使を見て、神様からの言葉を聞きました。マグダラのマリアでさえ主なるイエス様を見ました。しかし、使徒の男性たちはこれらの仲間の信者を信じようとしませんでした。イエス様は使徒の男性たちにそんな言い訳はさせませんでした。＜マルコの福音書 16 章 14 節-16 節＞を読むように、

＜マルコの福音書 16 章 14 節-16 節＞

14その後、十一人の弟子たちが食事をしているところにイエスが現れ、彼らの不信仰をとがめられました。「どうして、わたしが復活したと言う者たちの証言を信じなかったのですか。」

15それから、こう宣言されました。「全世界に出て行きなさい。すべての人々にこの福音を宣べ伝えるのです。」

16信じてバプテスマ（洗礼）を受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。

「主イエス様は復活された」という生きた信仰よりも大きな喜びは、失われた罪人を導いて、あなたとともに「主イエス様は復活された」ということを信じることです！主イエス様は本当に復活されました！

祈りましょう！